

## 第 2 回 名大本番レベル模試

### 英語採点基準

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	1	記述	10	66
	2	記述	10	
	3	記述	10	
	4	記述	10	
	5	客観	3×4	
	6	客観	2×4	
	7	客観	6	
II	1	記述	10	62
	2	記述	10	
	3	記述	10	
	4	客観	6(完答)	
	5	記述	10	
	6	客観	6(完答)	
	7	客観	2×5	
III	1	客観	4	44
	2	記述	10	
	3	記述	10	
	4	客観	2×5	
	5	客観	5×2	
IV	記述		28	28
合計			200	

I 問1 和訳 (10点満点)

〈設問指示〉 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉 ①2億3千万年にわたるカメの多様性をたどることは、②恐竜たちを殺してしまった壊滅的な出来事にカメがどのようにして対応したのかを明らかにするだけでなく、③気候変動を含む高まりつつある困難に対し、カメがどのようにして対応していくのかについての手がかりを、我々に与えてくれるのだ。

【和訳箇所】

①Tracking the diversity of turtles over the 230 million years ②does not only reveal how they responded to the catastrophic event that killed the dinosaurs, ③but also gives us clues as to how they would respond to increasing pressures, including climate change.

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	Tracking the diversity of turtles over the 230 million years	3点	<p>「2億3千万年にわたるカメの多様性をたどることは」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□「～することで、○○が分かるだけでなく、△△の手がかりが得られる」という和訳構成も可。</li> <li>□全体の主部だと理解できていないものは減点。</li> <li>□ track は「追跡する」「調べる」「さかのぼる」など、文脈上通じるものは認める。カタカナ訳は不可。</li> <li>□ diversity のカタカナ訳は減点。</li> <li>□ over はここでは「わたる」の解釈のみ許容。</li> </ul>
②	does not only reveal how they responded to the catastrophic event that killed the dinosaurs	4点	<p>「恐竜たちを殺してしまった壊滅的な出来事にカメがどのようにして対応したのかを明らかにするだけでなく」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ not only A but also B の関係を読み取れていない場合は減点。</li> <li>□ reveal は「暴く」「解明する」も可。</li> <li>□ how 以下を reveal の目的語であると把握できていなければ減点。 ※節は理解できているが how を「どのくらい」としたものは一部減点。</li> <li>□ they=turtles と理解していないものは減点。 ※「それら」「彼ら」も許容。</li> <li>□ catastrophic は逐語的には不正確でも、「壊滅的」なことを示す訳は認める。(例) ○破局的な, 悲惨な, 打撃的な</li> <li>□ catastrophic, event 共に, カタカナ訳は減点。</li> <li>□ that 節 が event を修飾していると捉えていない場合は減点。</li> </ul>
③	but also gives us clues as to how they would respond to increasing pressures, including climate change.	3点	<p>「気候変動を含む高まりつつある困難に対し、カメがどのようにして対応していくのかについての手がかりを、我々に与えてくれるのだ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ clues は「手がかり」と取れるものは広く許容。ヒントも可。</li> <li>□ as to を読み取れていない場合減点。</li> <li>□ how 以下を節としてまとめて捉えられていないものは減点。 ※節は理解できているが how を「どのくらい」としたものは一部減点。</li> <li>□ would を「したろうか」など誤訳した場合は減点。</li> <li>□ increasing は、「高まる」「強まる」の意味にとれるものは認める。</li> <li>□ pressure を「圧力」「プレッシャー」としていても許容。</li> <li>□ including 以下は「～を含む」「～を含めて」どちらも可。</li> <li>□ climate を「天気」としたものは減点。</li> </ul>

I 問2 内容説明 (10 点満点)

〈設問指示〉

下線部(2)のように言える理由を、テリー博士の発言をもとに、40 字以内 (句読点も含む) の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉

過去の出来事を理解することが、将来に起こることを理解するために必要だから。(37 字)

【解答参考箇所】

第4段落第3文 以降

“We tracked their diversity from when they first appear in the Triassic \*around 230 million years ago, to the end of the Oligocene about 23 million years ago. (2) Research on the past is essential for scientists. By tracking this long time period we looked at how they had changed through time and whether we can understand what is going on with turtles in response to the climate. **Studies such as this are really important because ① in order to understand what is going to happen in the future, ② you need to understand what has already occurred.”**

(「カメが約 2 億 3000 万年前の三畳紀に最初に出現した頃に始まり、約 2 千 300 万年前の漸新世の終わりに至るまでの、その多様性を追跡したのです。科学者にとって、過去についての研究は欠かせないものです。この長い期間を追跡調査することで、カメがどのようにして時を経て変化してきたのかと、気候に対応して何がカメに起きつつあるのかを私たちが理解できるかを、調べてきたのです。① 将来何が起きるのかを理解するためには、 ② すでにどのようなことが起きたのかを理解することが必要なので、 このような研究は本当に大切なのです」

【基準】

- ・ 語数指示の無視は 0 点。数字と記号のマス使用の指示無視は一カ所につき (-1)

● 次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	in order to understand what is going to happen in the future の該当部	5 点	<p>「将来に起きることを理解するために」 「未来に起きるであろうことを知るために」</p> <p>□ 構成要素の欠如については、以下の区分で減点とする。 in order to / understand / what ... happen / in the future</p> <p>□ for scientists という一般化に気づかず、「カメ」に限定して述べている場合は減点。 ※ 「例えば」などで一般化できていれば問題なし。</p> <p>□ what は「何が(疑問詞)」「こと(関係代名詞)」どちらの訳でも可。</p> <p>□ ①と②の関係性を反対に捉えている場合は減点。</p>
②	you need to understand what has already occurred の該当部	5 点	<p>「過去の出来事を理解することが必要だから」 「すでに起きたことを理解しなければならないから」</p> <p>□ 構成要素の欠如については、以下の区分で減点とする。 need to / understand / what ... occurred</p> <p>□ you を「あなた」と訳したものは減点。</p> <p>□ what は「何が(疑問詞)」「こと(関係代名詞)」どちらの訳でも可。</p> <p>□ already を明記していなくても可。</p>

I 問3 和訳 (10点満点)

〈設問指示〉

下線部(3)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

②ワニがそれほど被害を受けなかったことを示す証拠があるので、①水生のカメは陸生のカメほど例の壊滅的な出来事にひどく被害を受けなかったのかもしれない。

【和訳箇所】

“①Aquatic turtles might not have been as heavily damaged by the catastrophic event as land ones ②because there is some evidence suggesting that crocodiles were not so much damaged.

●次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	Aquatic turtles might not have been as heavily damaged by the catastrophic events as land ones	5点	<p><b>「水生のカメは陸生のカメほど例の壊滅的な出来事にひどく被害を受けなかったのかもしれない」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ aquatic は「水の」「海の」も許容。</li> <li>❑ 「過去への推理」として述べていない場合減点。</li> <li>❑ not as ... as (程ではない)を理解できていないものは減点。</li> <li>❑ been heavily damaged を suffered heavy damage として品詞を変えて訳していても可。※heavily の意味がまったく消えた訳は減点。</li> <li>❑ the の訳出有無は不問。</li> <li>❑ catastrophic は、逐語的には不正確でも、「ひどい」または「生存にかかわる」ことを示す訳は認める。カタカナ訳は減点。</li> <li>❑ event のカタカナ訳は減点。</li> <li>❑ land ones は「陸のもの(たち)」でも許容。 ※ones を turtles 以外に解釈したものは減点。</li> </ul>
②	because there is some evidence suggesting that crocodiles were not so much damaged.	5点	<p><b>「ワニがそれほど被害を受けなかったことを示す証拠があるので」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ some evidence の some は「いくらかの」「ある」なども許容。</li> <li>❑ suggesting 以下が evidence への修飾として理解できていないものは減点。※suggesting は「示す」「示唆する」どちらも可。</li> <li>❑ that を接続詞だと理解せず、「その」などとしたものは減点。</li> <li>❑ crocodiles のカタカナ訳は許容。</li> <li>❑ not so much + p.p. 「あまり～されていない」の誤訳は減点。</li> <li>❑ damaged は「ダメージを受け」としても可。</li> </ul>

I 問4 和文英訳 (10点満点)

〈設問指示〉 下線部(4)を英語に訳しなさい。

⇒ “①しかし、その研究が示すところでは、②カメは地球の寒冷化によって、我々が予測するよりも影響を受けないようです。”

〈解答例1〉

① But the study shows that ② turtles seem to be less affected by cooling global temperature than we expect.

〈解答例2〉

① However, according to the study, ② it seems that turtles are less affected by global cooling than we expect.

【基準】

- ・ 語句・文法レベルの誤訳と欠如, ケアレスミスは一律各 (-1)  
ただし、各部分ごとに、その部分の文意がとれない、述語動詞が欠けているなど、致命的なミスがある場合、その部分は 0点とする。
- ・ 辞書で U C が併記されている語の U C 区別は原則として不問。但し work/works のように U C 区別で意味がはっきり区別されるものは(-1)となる。

● 次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	しかし、その研究が示すところでは	3点	<p><b>“But the study shows that”</b>  <b>“However, according to the study,”</b></p> <p><input type="checkbox"/> 「その」の the[that, this]の欠如は減点。  <input type="checkbox"/> 「示す」は show の代わりに suggest, reveal も可。            ※時制は現在形、現在完了形を許容  <input type="checkbox"/> 「ところでは」を「ように」と解釈し, as S V の型で述べても可。</p>
②	カメは地球の寒冷化によって、我々が予測するよりも影響を受けないようです。	7点	<p><b>“turtles seem to be less affected by cooling global temperature than we expect.”</b>  <b>“it seems that turtles are less affected by global cooling than we expect.”</b></p> <p><input type="checkbox"/> 「地球の寒冷化」の許容例            ○ cooling of the earth, cooling global temperature, global cooling            × cold earth            ※ここでの減点は「寒冷化」「地球」それぞれで減点。            ※「地球」は our planet も可。  <input type="checkbox"/> 「よりも影響を受けないようだ」            ※「～によって」を主語にして, global cooling seems to have less influence(s) [effect(s)] on …のように述べても可。            ※「否定語」と less を併用して「影響がより少なくない」としてしまったものは、減点。  <input type="checkbox"/> 「我々が予測する」での時制は現在形、現在完了形を許容</p>

II 問1 内容説明 (10 点満点)

〈設問指示〉

下線部(1)の意味する内容を、文脈に即して 40 字以内 (句読点を含む) の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉

クレオールを定義する基準は、新世界で出生し育ったことであったということ。(36 字)

【解答参考箇所】

第1段落第1文 および3文以降

When you talk about American history, “Creole” is a famously complex word whose meaning varies along the lines of time, place, context, and so on. . . . . The term originally referred to the New World-born offspring of Old World-born parents. It didn’t matter where those parents came from, or who their offspring were; (1) what mattered was their nativity — being “from here,” born and raised in the New World, was what made people Creole Americans.

(アメリカ史を論じるに際して、「クレオール」は時や場所や状況などに従って意味が変化する、意味が錯綜していることでよく知られた語である。クレオールは、「育てる」を意味するスペイン語の動詞 *criar* の変化形である *criollo* に由来すると言われている。クレオールという語は、もともとは旧世界生まれの両親から新世界で生まれた子を指していた。その親がどこからやって来たのかや、生まれた子が誰であるかは重要ではなかった。(1)重要だったのは当人の出生であり、「この出身」であること、つまり新世界で生まれ育ったのだ、ということ、人々はクレオールアメリカ人だとされたのだ。

【基準】

・語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使用の指示無視は一カ所につき(-1)

	項目	配点	盛り込むべき内容
①	「クレオールを定義する上でのポイント」に関する言及	2点	<p><b>「クレオールを定義する基準は」</b></p> <p>□ 「クレオール」の欠如は減点。 ※大問の冒頭指示通り「クレオール」と表記しなかったもの(英語のままなど)は不可 ※「クレオールアメリカン」「クレオール系アメリカ人」も可。</p> <p>□ 「定義」もしくは「基準」にあたる表現の欠如は減点。(どちらか片方あれば許容) ※word whose meaning / the term などから「クレオールの意味は(という言葉は)」と述べても可。 ※「人をクレオール(アメリカン)とするのは」「クレオールとするうえで重要なのは」と述べても可。</p>
②	「新世界(アメリカ)で生まれ育ったこと」への言及	8点	<p><b>「新世界で出生し育ったことであったということ」</b></p> <p>□ 「新世界 (the New World)」の欠如は減点。 ※American history から、「アメリカ (大陸)」「北米」としても可。 ※「未知の土地」「植民地」など、不適切なもの(アメリカだと分からないもの)は不可</p> <p>□ 「出生 (born)」「育った (raised)」の欠如は、それぞれ減点。 ※「出生」「育った」をまとめて「～の出身である(being “from here”)」と述べたものは許容。ただし here を「新世界」「アメリカ」と正しく具体化していないものは不可。</p> <p>□ 「旧世界生まれの両親から新世界で生まれた子」を使った場合、「育った」の欠如とみなし減点。</p>

II 問2 和訳 (10点満点)

〈設問指示〉

下線部(2)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

①歴史的には、「クレオール」は人種を示すものではなく、②全人種を含んだ、土地に根差した民族集団で、③鍵となる共通性は現地で生まれたということであった。

【和訳箇所】

①Historically, “Creole” was not a racial signifier, ②but a pan-racial, place-based ethnicity, ③with the key commonality being local nativity.

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	Historically, “Creole” was not a racial signifier,	3点	<p><b>「歴史的には、「クレオール」は人種を示すものではなく」</b></p> <p>□「クレオール」は英語のままなどは減点。 ※「」がなくても許容。クォーテーションままでも許容。 □ racial signifier は「人種指標」など堅い訳も許容。</p>
②	but a pan-racial, place-based ethnicity,	3点	<p><b>「全人種を含んだ、土地に根差した民族集団で」</b></p> <p>□ but を「しかし」としたものは減点。 □ pan-racial, place-based の誤訳は、それぞれ減点。 ※pan-racial は「人種に無関係な」「人種包括的な」なども可。 □ pan-racial を ethnicity にかけていないものは減点。 □ ethnicity の許容例 ○「民族」「民族名称」×カタカナ訳</p>
③	with the key commonality being local nativity	4点	<p><b>「鍵となる共通性は現地で生まれたということであった」</b></p> <p>□ = and the key commonality was local nativity という構造が理解できていない場合減点。 (例) with を「～を使って」とする誤訳 □ the を「その」と訳出しても可 □ key は「重要な」「主要な」の意味に捉えてあれば認める □ commonality は common「共通の」のニュアンスがはいった名詞になっていれば許容。「共通点」も可。 □ local は「地元」「ある(特定)地域」の意味で nativity につながっていれば可。カタカナ訳は減点。 □ nativity は「出生」の意味が入っていれば可。 (例) 生まれ育ったこと ※「育ち」のみでは減点。</p>

II 問3 内容説明 (10 点満点)

(設問指示)

下線部(3)に変化が生じた理由を、文脈に即して 60 字以内 (句読点を含む) の日本語で説明しなさい。

(解答例)

自分たちとは異質な新来の移民の増加に脅威を感じ、地元民たちがクレオールとしての絆を強く意識するようになったから。(56 字)

【参考箇所】 第4段落

In the 1700s, most people in New Orleans were Creole, and (3)few felt a pressing need to identify themselves as such.

(1700 年代には、ニューオーリンズの人間のほとんどがクレオールであり、(3)自分をクレオールだとする差し迫った必要を感じていた人はほとんどいなかった。)

This changed after 1803, when English speaking Anglo-Americans began to arrive, followed by other foreign immigrants.

①Locally born people began to feel threatened by the ever-growing number of newcomers, and ②came to be vividly aware of their shared bond of nativity — that is, their Creole identity. In following decades, much of life in New Orleans took them form of a tense negotiation between French-speaking Creoles and English-speaking Anglo-American groups.

(これが変化したのは、英語を話すアングロサクソン系アメリカ人が到来し始め、それに他の外国人移民が続いた、1803 年以降のことだった。①地元で生まれた人々は、増加の一途をたどる新参者により脅威を感じ始め、②自分たちの出自という共通の結びつき、つまりクレオールとしてのアイデンティティを明瞭に意識するようになった。続く数十年の間、ニューオーリンズの生活はその多くが、フランス語を話すクレオールたちと、英語を話すアングロサクソン系アメリカ人から成る集団の間での、緊張をはらんだ折衝という形をとっていた。)

【基準】

- ・語数指示の無視は 0 点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(-1)

●次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	Locally born people began to feel threatened by the ever-growing number of newcomers, の該当内容	5 点	<p><b>「自分たちとは異質な新来の移民の増加に脅威を感じ、地元民たちが」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ locally born people の欠如は減点。</li> <li>□ feel threatened の欠如は減点。 ※began への言及は不問。</li> <li>□ ever-growing の欠如は減点。 ※ever のニュアンスの有無は不問。 ※the number of を逐語的に訳していなくても可。</li> <li>□ newcomers の欠如は減点。 (許容例) ○新来者, 新規の移民 ※「自分たちとは異質な新来の移民」の言い換えとして「アングロサクソンとその他の外国人」は許容。「アングロサクソン」のみは減点。</li> </ul>
②	came to be vividly aware of their shared bond of nativity — that is, their Creole identity の該当内容	5 点	<p><b>「クレオールとしての絆を強く意識するようになったから」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ came to は began to のニュアンスで述べても可。欠如は減点。</li> <li>□ be aware of の欠如は減点。 ※vividly の反映の有無は不問。 ⇒絆が強くなった、などは不可</li> <li>□ their shared bond of nativity(=their Creole identity) ⇒「自分の」や「クレオールとしての」など、their (Creole)に当たる部分の欠如は減点。 ⇒shared bond of nativity (identity)にあたる部分の語訳・欠如は減点。 ※ shared bond (絆) は「共通点」など文脈に沿った表現を認める。 ※ nativity は単に「出生」でも可。「同じところで生まれた」「生まれを同じくする」なども可。 ※Creole identity で shared bond of nativity の代用にしても可。その際 identity はカタカナで述べても可。 ※Creole identity と shared bond of nativity を混ぜ合わせた表現も可。 (例) クレオールという共有された結びつき</li> </ul>



II 問5 和訳 (10点満点)

〈設問指示〉

下線部(5)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

①今日では、ニューオーリンズで自分はクレオールだと自認する人は、②人種的に混合した家系を持ち、地元に深く根差し、カトリックの家族がいる人である場合が多い。

【和訳箇所】

- ① Today, someone who self-identifies as Creole in New Orleans ② is likely to be a person of mixed racial ancestry, with deep local roots, and with family members who are Catholic

●次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	Today, someone who self-identifies as Creole in New Orleans	4点	<p>「今日では、ニューオーリンズで自分はクレオールだと自認する人は」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> today の欠如は減点。</li> <li><input type="checkbox"/> someone を「誰か」と訳して不自然なものは減点。</li> <li><input type="checkbox"/> self-identifies as を identify oneself as の意味でとれていないものは減点。</li> <li><input type="checkbox"/> Creole を『クレオール』と表記しなかったものは減点。</li> <li><input type="checkbox"/> New Orleans の表記の誤りは許容だが、英語のまま写したものは減点。</li> </ul>
②	is likely to be a person of mixed racial ancestry, with deep local roots, and with family members who are Catholic	6点	<p>「人種的に混合した家系を持ち、地元</p> <p>に深く根差し、カトリックの家族がいる人である場合が多い」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> is likely to be 「～である場合が多い」「～である傾向にある」の欠如は減点。</li> <li><input type="checkbox"/> of A, with B, with C それぞれを a person への形容詞句として訳せていないものは減点。訳出の順番は不問。</li> <li><input type="checkbox"/> mixed racial ancestry は「混合」「人種」「家系(先祖)」の3要素が適切に訳されていないと一括して減点。</li> <li><input type="checkbox"/> deep local roots は「深い」「地元」「根ざす(結びついた)」の3要素が適切に訳されていないと一括して減点。 ※roots のカタカナ訳は許容。</li> <li><input type="checkbox"/> family members who are Catholic ⇒Catholic の表記の誤りは許容だが、英語のまま写したものは減点。</li> </ul>

Ⅲ 問2 和文英訳 (10点満点)

(設問指示)

Translate the underlined part after (2) into English.

⇒ それから、彼らと連絡をとって、うちのクラブにいたことがあるかどうか尋ねて欲しいんだ。

(解答例)

Then I want you to contact them and ask them if they belonged to our club.

【基準】

- ・ 語句・文法レベルの誤訳と欠如, ケアレスミスは一律各 (-1)  
ただし, 各部分ごとに, その部分の文意がとれない, 述語動詞が欠けているなど, 致命的なミスがある場合, その部分は 0点とする。
- ・ 辞書で U C が併記されている語の U C 区別は原則として不問。但し work/works のように U C 区別で意味がはっきり区別されるものは(-1)となる。

● 次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

箇所	項目	配点	盛り込むべき内容
①	それから	1点	<p><b>“Then”</b> (許容例) Then, In addition, After that ※直後でのカンマの有無は不問。</p>
②	彼らと連絡をとって、尋ねてほしいんだ	4点	<p><b>“I want you to contact them and ask them”</b> □「～と連絡をとる」の許容例 contact O, make[have] contact with O, get in touch with O, communicate with O □「～をとって, (そして)」の部分は, and (then) も可。不備は減点。 □「尋ねて」の許容例 ask (O) whether/if, inquire (of O) whether/if ※ カッコ内の O の有無は不問 □「～して欲しい」の許容例 want[wish] O to do, hope for O to do, hope that S will[would] do, would like O to do ※語法的に誤りの形で述べている場合は不可 (例) hope O to do ※命令文は不可。</p>
③	うちのクラブにいたことがあるかどうか	5点	<p><b>“if they belonged to our club.”</b> □「うちの」は our が原則だが, (which/that) we belong to と冗長に述べても可。 □「いたことがある」は, belonged to / were members of が原則。 played at/in, join, participate in, were in も許容。 ※時制は過去が正しいが, 経験の現在完了も許容。過去完了は不可。 □「～かどうか」を接続詞 whether/if で述べられていない場合減点。</p>

Ⅲ 問3 自由英作文 (10点満点)

(設問指示)

The underlined part after (3) means that using social media excessively is likely to damage your mental health. Give ONE example of the mental damages excessive use of social media might cause you and a reason for it. Your answer should be between 20 and 25 English words in length. (Indicate the number of words you have written at the end of your answer.)

**Tony:** I don't think so. A lot of psychologists and journalists argue that excessive use of social media has a negative influence on the users. For example, (3) they say excessive use of social media tends to cause damages to your mind.

(解答例)

I think excessive use of social media might negatively affect my concentration because it tends to keep me distracted by new messages. [22 words]

【基準】

- ・以下の部分に分けて採点する。各部分の減点は、与えられた配点を超えないものとする。
- ・語句・文法レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1)  
ただし、各部分ごとに、その部分の文意がとれない、述語動詞が欠けているなど、致命的なミスがある場合、その部分は 0点とする。
- ・辞書で U C が併記されている語の U C 区別は原則として不問。但し work/works のように U C 区別で意味がはっきり区別されるものは(-1)となる。
- ・末尾に語数を記入していないものは減点。

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
「意見の内容と理由が適切か」 <A>ONE example of the mental damages (5点) <B>a reason for it (5点)	10点	<input type="checkbox"/> <A>と<B>の因果関係の不成立は減点。 <input type="checkbox"/> mental damage の内容は広く認める ○過度に心配してしまう、落ち込む、など ×目が悪くなる
※その他の注意事項。		<input type="checkbox"/> 明らかに 2 つ以上の mental damage を述べているものは、<A>から減点とする。但し、連続した因果関係を and で述べている場合は許容。(←「a となり結果 b となる」という論法)

IV 28点

〈問題指示〉 Check the data given above carefully. Then write **what you have observed** and give **TWO possible threats the data suggest**. Your answer should be between **50-60** English words in length. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

〈解答例〉 More and more satellites were launched over the years. The number of satellite incidents was also on the rapid rise recently. The increase of artificial satellites means an increasing risk of collisions between them, which might cause a breakdown in global communication. In addition, if the broken pieces should fall on to cities, they could cause fatal damage. [58 words]

●記述点

- ・以下の部分に分けて採点する。各部分の減点は、与えられた配点を超えないものとする。
- ・語句・文法レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1)
- ただし、各部分ごとに、その部分の文意がとれない、述語動詞が欠けているなど、致命的なミスがある場合、その部分は **0点**とする。
- ・辞書で **U C** が併記されている語の **U C** 区別は原則として不問。但し **work/works** のように **U C** 区別で意味がはっきり区別されるものは(-1)となる。
- ・末尾に語数を記入していないものは減点。
- ・設問文からの表現の借用は許容。

●内容点

項目・配点
配点の内訳 → <b>what you have observed 【12点】 + two possible threats the data suggests 【16点】</b>
<p><b>what you have observed 【12点】</b></p> <p>※正しくない事象への言及・グラフの読みとりの大きな誤り(グラフ要素の取り違いなど)は、1つにつき都度減点。                  ※グラフの読みとりの部分的誤り、具体的数値に言及して誤った場合も都度減点。                  ※時制は現在(完了)形・過去形を許容。</p>
<p><b>Two possible threats the data suggests 【16点】</b></p> <p><b>必須要素</b> 2つ以上の具体例</p> <p><input type="checkbox"/> 1つしかない場合、(-8)</p> <p><input type="checkbox"/> 「脅威(threats)」としてとれないもの・荒唐無稽なものは不可。                  (不可の例)「衛星を回収する方法を確立すべきだ」← <b>threat</b> になっていない。                  (許容の例)「国際紛争の原因になる」←他国の衛星同士が衝突すれば十分にありうる。</p>